

HITACHI エンタープライズサーバ EP8000 シリーズ マシンコード来歴

LT07 ドライブ (THE-C3580-H7S, THE-7226FC8441)
 ファームウェア変更内容と来歴

ファームウェア変更内容と来歴	
Q385	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブが不適切なセンスを報告する問題を修正しました。 ・過剰なリード ERP トリガーを修正しました。 ・リード ERP の失敗を修正しました。 ・書き込み時のタイムアウトを修正しました。 ・読み取り時の予期しないエラーを修正しました。 ・Space コマンドの後の予期しないタイムアウトを修正しました。 ・Locate 失敗を修正しました。 ・Locate/Space タイムアウトを修正しました。 ・ERP を改善しました。 ・EOD を読み込んだ後のパーティション設定後に Format コマンドが失敗する問題を修正しました。 ・Locate/Space 失敗を修正しました。 ・FSC 78B5 を修正しました。 ・予期しないバッファフルによる読み取りの失敗を修正しました。 ・アンスポールエラーのための誤った FSC を修正しました。 ・EOW で発生した読み取りエラーを修正しました。 ・リードバッファ ID 08h の内容の破損を修正しました。 ・カートリッジロード中のパニックを修正しました。 ・GRAO 処理中の位置の不一致を修正しました。 ・Locate 時のパフォーマンス低下を修正しました。 ・Locate/Space の失敗を修正しました。 ・書き込み操作中のドライブのハングを修正しました。 ・ロード時のボトムセンサーエラーがスレッダーとヘッドの干渉を引き起こす可能性があるケースを修正しました。 ・read data perm カウンタ(または任意の perm cntr)の設定によるセーフモード書き込み追加エラー (FSC 4720) を防止。 ・無効なメディアの誤検出を修正しました。 ・ERP 後のサーボ読み取りエラーを修正しました。 ・ゼロ速度付近の方向転換時の張力シャットダウン (FSC 7875) を修正しました。 ・前のセグメントに FM がないことによる WORM 追加エラーを修正しました。 ・Get/Set 動作に無効な値があると、ドライブがパニックに陥る可能性がある問題を修正しました。 ・ERP 開始時のロジックの欠陥を修正しました。 ・一部の TDS ケースに関連する読み取り ERP エラーを修正しました。 ・MTR ケースのドライブハングを修正しました。 ・LT07 ドライブの L6 テープの書き込みエラーを修正しました。 ・Write コマンドの FSC 6000 を修正しました。 ・ホールドポジションからのロードの失敗を修正しました。 ・ERP の機能強化 (FSC 583x/783x)。 ・読み取り操作中のドライブのハングを修正しました。 ・書き込み ERP 中のパニックを修正しました。 ・読み取り ERP のエラーケースを修正しました。 ・高速位置決め時の LPOS を取得するためのサーボの改善をしました。

P351	<ul style="list-style-type: none"> ・ERP 中の読み取りエラーを修正しました。 ・書き込み追加エラーケースを修正しました。 ・ドライブの誤った書き込みエラーレポートを修正しました。 ・MTR エラー状態を修正しました。 ・読み取りエラー FSC 6353 を修正しました。 ・不良な「再生」メディアの検出、無効化、拒否を追加 - FSC 2C40 を報告。 ・無効なテープディレクトリ時の読み取りエラーの修正をしました。 ・テープディレクトリが無効な場合の BOW での読み取り失敗を修正しました。 ・間違った EOD ポートを修正しました。 ・ERP を改善しました。 ・フルレンジ LTU による長いアンロード時間を修正しました。 ・リポジションタイムアウトを修正しました。 ・カートリッジの初期化時間を改善しました。 ・ロード完了後に更新される LP17 を修正しました。 ・ステータス送信後に書き込みが中止された場合の処理を修正しました。
N9M1	<ul style="list-style-type: none"> ・リールモータが失速する問題を修正しました。 ・ERP (error-recovery procedures) を改善しました。 ・エラー通知を改善しました。 ・Read コマンドタイムアウトとなる要因を修正しました。 ・Locat/Space コマンドが失敗する問題を修正しました。 ・ドライブダンプが破壊される問題を修正しました。 ・Read/Reposition コマンド実行時に FSC 7410 が発生しないように修正しました。
N4Q1	<ul style="list-style-type: none"> ・アンロード中のエラー処理を改善しました。 ・リポジショニングエラーの修正と改善。 ・テープ上の最後のレコードへの Locat/Space のタイムアウトを修正しました。 ・予想外の endmarker が見つかる問題を修正しました。 ・アンロード中にヘッドが詰まることによりドライブが再排出失敗後にハングアップする問題を修正しました。 ・MTR (Mid-Tape Recovery) の改善。MTR 中の unspool (巻き戻し) のための減速からの遷移を改善しました。 ・FSC 2E0C (bottom sensor error) でアンロードの失敗後にアンロードコマンドが無応答となる問題を修正しました。 ・読み取りエラーの場合の修正 (FSC 7274)。 ・有効期限が rfx = 300 であるテープのロードを許可するよう変更しました。 ・LLWR 診断失敗ケースの修正。 ・特殊なケースでキャリブレーション基準を調整するよう変更しました。 ・特定の条件でのキャリブレーションを改善しました。 ・コマンドキューイングの問題によるテープのランオフ (リールからテープが外れる) を防止します。 ・メディア EOL 基準からの LP3 パスを削除しました。 (LP3 (ロジカルポイント 3。ユーザデータの先頭) パスを EOL の条件にしない) ・EOW (End of wrap) での読出し失敗を修正しました。 ・EOW の上の読み取り SAW (中断された追加書き込み) DS (Data safe) の修正。 ・BOW (Beginning of wrap) での読出し失敗の修正。 ・append-only モードで新しいテープの BOT から書き込むときの書き込みエラーを修正しました。 ・append 失敗を修正しました。 ・Report/Set Automation Device Attributes コマンドのための service action 1Eh のサポートします。 ・Read コマンドタイムアウトとなる要因を修正しました。

MA71	<ul style="list-style-type: none"> ・より適切なエラーコードを返すよう修正しました。 ・センス・データ位置決めパラメーターを修正しました。 ・テープのポジショニングとテープのモーションコントロールを改善しました。 ・テープ・アラート 32 を正しく設定し、読み取り CRC エラーに別のエラー・コードを割り当てるよう修正しました。 ・エラー処理の機能を強化しました。
M571	<ul style="list-style-type: none"> ・Log Sense パラメーターのコレクションとレポートを機能強化しました。 ・エラー回復の処理と機能を強化しました。 ・アンロードと、ロードコマンドの処理を改善しました。 ・EOD(End of Data) 処理を改善しました。 ・テープハンドリングとサーボを改善しました。
KAH1	<ul style="list-style-type: none"> ・Mode sense と Log sense を改善しました。 ・Read error recovery 処理を改善しました。 ・Write error recovery 処理を改善しました。 ・Link の品質が悪いときにリセットするよう変更しました。 ・多重転送時の転送長と扱いを改善しました。 ・Write Attribute コマンドのパラメータ検査を修正しました。 ・エラー通報の改善。 ・テープを引き出すことに失敗した後、アンロードできるよう修正しました。 ・テープサーボを改善しました。 ・Power saving unthread 後に Reset がかからないように修正しました。
K4M1	<ul style="list-style-type: none"> ・Abort 処理を改善しました。 ・エラー通報とエラー回復を改善しました。 ・テープサーボを改善しました。 ・Power saving mode や Unload 時に Reset がかからないように修正しました。
JAYF	新規リリース

株式会社 日立製作所 情報・通信システム社 ITプラットフォーム事業本部 2023年11月

(c) Hitachi, Ltd. 2023 All rights reserved.